

I am JAPAN

ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする
の柱
～経済・産業・移民～

2 日本人を守り抜く
の柱
～食と健康・一次産業・エネルギー～

3 日本人を育む
の柱
～教育・人づくり・国家観～

1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が**生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療**で**健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 **受験戦争**からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 日本は**みんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は **参政党** とお書きください。

参政党の政策は ▶
こちらの特設サイトから！

大森紀明 プロフィール 1971年宇都宮市生まれ。獨協大学経済学部卒業。経営コンサル会社を設立し独立。利権や保身で変わらない時代遅れの政治を変えるため、「投票したい政党がないから自分たちでゼロからつくる」がスローガンの「参政党」から立候補。

昭和46年3月18日生（54歳）



参政党
大森紀明
おおもり のりあき

自民党政治と対決し **暮らし平和人権** 国民のために
ブレずにはたります

物価高には手を打たず、アメリカいいなりに大軍拡、裏金や統一協会の疑惑、憲法9条をこわして戦争する国へ——こんな高市自・維政権にキッパリ対決します。ごいっしょに政治を変えましょう。よろしくお願いします。

「人間の自由」が花ひらく **日本共産党**
未来社会をめざす
長時間労働や格差の拡大、気候危機——もうけ最優先の資本主義が生む矛盾に、「このままでいいのか」という問いかけが世界で広がっています。私たちは、搾取をなくし労働時間を短くすることで、誰もが「自由な時間」を持ち、可能性を伸ばせる社会をめざしています。

大企業・大株主への「富の集中」ただし **くらし応援にチェンジ**

物価高対策 ▶ 中小企業を直接支援、最賃時給1700円をめざします

1日7時間労働 ▶ 賃上げとセットで「自由な時間」を増やします

消費税5%減税 ▶ 廃止をめざして緊急減税、インボイスは廃止します

医療・介護の充実 ▶ 「4兆円の医療費削減」は中止、予算を増やします

学費値上げストップ ▶ 教育予算を増やし半額、無償をめざします

財源は 大企業・富裕層に応分の負担を求める税制改革、軍事費・大企業補助金の削減などの歳出改革で

「力の支配」トランプ政権いいなりやめ **平和の外交にチェンジ**
くらし壊す大軍拡は中止に
▶「5年で43兆円」―「亡国の道」、軍事費大増額に反対します

日中関係打開へ対話の外交を
▶「互いに脅威とならない」と確認した日中首脳合意(2008年)にもとづく行動を両国政府に求めています

人権を尊重する政治に
▶ジェンダー平等をすすめます。差別を許しません

政治の闇と腐敗をただす
▶統一協会と自民党との黒い癒着の全貌解明を求めます
▶政党助成金の廃止、企業・団体献金を全面禁止します

青木ひろし ●県立真岡高校、城西大学理学部卒。●とちぎコーポ勤務●現在、党県常任委員、中部地区委員長。

1961年1月15日生（65歳）



日本共産党
青木ひろし
あ お き

希望ある政治へ、比例は**日本共産党**とお書きください。

日本維新の会

新しい日本へ

日本再起への
かしわ くら
柏倉ゆうじ 5本の矢

基本政策

1 **くらし**
■食料品消費税0% (2年間)による早急な物価高対策。
■給付付き税額控除により可処分所得を増やす。
■社会保険料を下げる改革を断行。

2 **医療政策**
■県立3病院の再編、市民病院化を国が財政支援。
■国民健康保険の応能負担。世代間格差をなくす。

3 **外国人政策**
■外国人の受入れを必要最小限にする。(総量規制)
■刑法犯、不法滞在の外国人の厳罰化、速やかな国外退去。
■外国資本の土地取得規制強化。
■議員、政府要人、公務員の国籍条項の厳格化。

4 **教育**
令和8年4月から高校授業料無償化を実現！
■国による中学校までの給食無償化、質の向上。

5 **防衛・エネルギー政策**
■有事における即応性の向上。
■グレーゾーン事態の作戦能力の改善。
■自衛官の処遇改善。
■安全性を大前提に原子力発電所の再稼働を進める。

プロフィール

昭和44年 4月10日生 栃木県宇都宮市出身
昭和57年 宇都宮市立峰小学校卒業
昭和60年 宇都宮市立陽東中学校卒業
昭和63年 栃木県立宇都宮高等学校卒業
平成8年 岡山大学医学部卒業
平成16年 順天堂大学大学院修了「医学博士」
米国ジョンスホプキンス大学 博士研究員
平成21年 岡山大学医学部 特任准教授
慶應義塾大学大学院 特別研究准教授

平成24年 第46回衆議院議員総選挙（1期）
医療法人社団 宇光会
村井クリニックにて在宅医療に従事
〔第47・48・49回・50回〕
〔衆議院議員総選挙 善戦〕
令和2年 日本維新の会 衆議院
栃木県 第1選挙区 支部長に就任
令和4年 日本維新の会 幹事長に就任
在宅療養支援診療所 開院

かしわ くら
柏倉ゆうじ

医師

元衆議院議員
宇都宮出身

HP

昭和44年4月10日生（56歳）

日本
維新の会
柏倉ゆうじ
かしわ くら

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。 なお、掲載順はくじにより決定しています。)

令和 8 年
2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

栃木県第1区

栃木県選挙管理委員会

暮らしを守り、人を育て、地域を支える。

小池あつし 5つの政策

1 経済対策

- 底上げして、太く強い日本経済へ
- ・食料品消費税ゼロ
 - ・公正な税制へ
 - ・賃上げできる経済へ
 - ・格差を是正し、消費を回す

2 年金・社会保障改革

- ・わかりやすく公平で、持続可能な制度へ
- ・ベーシック・サービスの拡充

3 食料の安全保障

食は、国の責任で守る

4 人への投資(教育)

教育は、最大の成長戦略

5 暮らしの安心

命と日常、地域を守る

いよいよ 世代交代！

日本はいま、物価高や人口減少、社会保障、そして地方の将来など、先送りできない課題が山積み、先の見えない不安に満ちています。
これまで、私は国会議員秘書、県議会議員として、地域で暮らしの声を受け止め、政策につなげてきました。しかし、国は未だに財源と権限で自治体を縛り、負担を押し付けています。国を変えなければ、暮らしも地方も変わりません。
今の国政には、これからの日本を支える現役世代、子育て世代の視点が何より必要です。私たち責任世代を中心に、栃木1区を動かし、国政を変える第一歩にしましょう。いよいよ世代交代！

プロフィール

1976 年、日光市小林生まれ。
宇都宮高校、東京大学文学部卒。
福田昭夫衆議院議員の公設第一秘書などを
経て、2019年に栃木県議会議員に初当選(2期)。



ホームページ facebook Instagram



中道改革連合

一九七六年五月二五日生 (49歳)

こいけ 小池あつし

いまを大切にしつつ、未来につなぐ政治を 高市早苗総理とともに強い日本をとりもどす



自由民主党

ふなだ
船田はじめ

昭和28年11月22日(72歳)

●決意を新たに

日本は過去30年近く経済の低迷に悩まされ、適切な経済・財政運営により、ようやく脱却しようとしています。しかしながら、さらに強い経済と安定した生活を進めるためには、中小企業や農業分野でのDX化、科学技術の推進、賃金のアップ、環境保全、世界の中の日本の存在を高める努力が不可欠です。そのために、もの言う政治を断行し、これらの政策を必ず実行して参ります。

未来につなぐ政治を実現

- ◆教育無償化や探究学習を普及し、次世代人材を育成すること。
- ◆首都機能を分散し、地方創生や災害に強い国をつくること。
- ◆地球環境を守るため、再生可能エネルギーの活用や、食品ロス削減に取り組むこと。
- ◆憲法を改正して、自衛隊をきちんと位置付けることを目指します。

いまを大切に政治を実現

- ◆企業の供給力を高める設備投資や、適切な金利引上げなどの物価高対策。
- ◆若者の給与や、医療、介護、保育など公定価格をアップする。
- ◆農業・中小企業にAI技術を導入し、生産性を高めていきます。

地域創生を確実に推進

◆宇都宮や上三川の課題として、LRT西側延伸、文化と知の創造拠点、県立病院の再編高度化を推進する。

■船田 元 プロフィール

昭和 28年 宇都宮市に生まれる
昭和 54年 衆議院第35回総選挙に最年少の25歳で初当選以来14期当選
昭和 58年 慶應義塾大学大学院修士社会学研究科修了
昭和 59年 自民党青年局長
昭和 60年 総務政務次官就任
昭和 62年 文部政務次官就任
平成 2年 自民党外交部長就任
平成 4年 国務大臣経済企画庁長官就任(39歳最年少)
平成 11年 自民党財務委員長
平成 15年 衆議院憲法調査会筆頭幹事
平成 16年 衆議院イラク人道復興支援活動特別委員会委員長
平成 17年 自民党憲法調査会長
平成 19年 自民党科学技術創造立国推進調査会長
平成 21年 衆議院消費者問題に関する特別委員会委員長
平成 25年 自民党消費者問題調査会会長(現在に至る)
弾劾裁判所裁判長
平成 26年 自民党憲法改正推進本部長
平成 29年 自民党衆議院議員総会長(現在に至る)
平成 30年 自民党憲法改正推進本部顧問(現在に至る)
令和 元年 自民党科学技術イノベーション戦略調査会顧問(現在に至る)
令和 5年 弾劾裁判所裁判長就任(8回目)



Facebook YouTube X HP

日本の誇りを取り戻す

石川文三郎の

基本政策



公平公正な日本



歴史文化伝統の継承発展



民主愛国政策の推進

重要政策

- 1 国民の生命財産を守る
- 2 自主憲法制定
- 3 国力経済力に相応しい
正当な軍事力の保持
- 4 スパイ防止法制定
- 5 言論の自由、学問の自由の尊重
- 6 ギブアンドテイク外交の徹底

具体的諸施策

- 60歳以上中高年の職務や処遇の改善(年齢性差による差別撤廃)
- 不法残留外国人を送還、不当な外国人の要求を却下する
- 外国人の国籍取得永住、不動産の取得、ビジネス等の厳格化
- 超円安を着実に改善し、本質的物価高対策に取り組む
- 農業への企業の参入を認める、日本米を輸出産業へ

プロフィール

- 1956年6月宇都宮市出身
- 栃木県立宇都宮高校卒業
- 帝京大学医学部卒業
- 1993年10月医院開業
- 現在、石川内科小児科クリニック院長
- 家族 妻、息子3人、全員医師
- 座右の銘「小医は病を治し、中医は人を治し、大医は国を治す」
- 趣味 ゴルフ、友人との会食、音楽鑑賞



無所属

いしかわ
ぶんざぶろう
石川文三郎

昭和31年6月7日生(69歳)